



編集委員：山崎、井上
発行責任者：岡本

令和5年8月発行(年4回発行)

夏の日差しが眩しい季節となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
いきいき通信では、看護局の取り組みや、院内外でのイベントなどを掲載しています。
取りあげてほしいイベントがあれば、気軽に図書委員までお知らせ下さい。
今年も、楽しく役立つ情報を提供していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



PNS ベストパートナー賞受賞者



2A
Kさん Gさん

私たちはこの1年で心不全療養指導士の資格習得に向け協力し循環器内科の先生方や先輩療養指導士が手厚くサポートして下さったおかげもあり無事に資格取得することができました！



2B
Jさん Fさん

分からないことはお互いに補完することができ「ありがとう」が自然と増えて心強い存在となった1年でした。



3A
Nさん Uさん Tさん

3人で情報共有を大切に受けもち患者の退院支援を進めました。ストーマについての知識も深めた1年でした。



3B
Wさん Sさん Hさん
(育休中)

患者の早期退院を目指して退院支援から退院調整までコミュニケーションを図りお互いが補完パートナーとして協力しました。

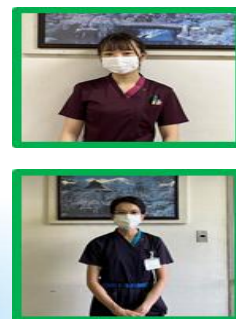


おめでとう
ございます!!



4A
Oさん Oさん Uさん

O看護師：困りごとがあれば相談しやすく安心感が持てるチームでした。パートナーにフットケアの指導を受け多くの患者さんのケアができ喜んでもらえました。U看護師：情報共有をしながら患者の意向に沿った退院支援ができるように取り組みました。



4B
Aさん Sさん

私たちは、効率的な退院支援を目標に病棟研究に取り組み看護実践へ繋げることができました。



5階
Oさん Mさん Yさん

ベストパートナー賞を頂き光栄です。コロナ病棟での勤務クラスター対応やリリーフ活動を行いました。パートナーとしてコミュニケーションをとりながら、お互いに励まし支え合うことができました。



PNS 委員長 W 看護師さんより一言いただきました

ベストパートナー賞受賞おめでとうございます。昨年もコロナなど色々なことがありました。その中で、パートナーとパートナーシップマインドを十分に発揮され対等な立場でお互いの特性を生かし知識と経験を補い合い協力し合うことができた結果だと思います。今回の経験を生かし今後も引き続きよろしくお願いいたします。

PNS 推進委員会 委員長



看護局長さんにお話を伺いました

昨年度のベストパートナー賞受賞の方々は、お互いを尊重し合い、助け合いながらお互いが成長できる関係で患者さんに良い看護を提供して下さった成果を看護師長が推薦し決定されました。資格習得に向けての研鑽や協力しての退院支援お互いが協力して効率の良い業務管理など成果がたくさんありました。他のペアの方々も負けず劣らず良いケアを提供して下さったと報告を受けています。今年度はまた新しいペアで良い看護を提供して下さることを期待しています。



看護局長

